

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 25.6.18 第 183 回国会第 17 号

6 月 18 日（火）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・太田国土交通大臣、西村内閣府副大臣、鶴保国土交通副大臣、赤澤国土交通大臣政務官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

穀 田 恵 二君（共産）

- ・JR 東日本は、2010 年 7 月の水害により不通となっていた岩泉線の廃止を昨年 3 月に表明した。東日本大震災に便乗して、赤字ローカル線である岩泉線を廃止しようとしているように見えるが、大臣はこのようなことを認めてよいとお考えか。
- ・貸事務所等と称して最低居住面積水準を満たさず、建築基準法違反の物件を居住用に貸し出すいわゆる「脱法ハウス」が存在しているが、いつ頃までにその実態調査をして是正するのか。
- ・いわゆる「脱法ハウス」の急な閉鎖等により居住していた人が追い出された場合、国はその人たちに対して支援をするべきではないのか。

佐 藤 正 夫君（みんな）

- ・委員会で指摘してきたエレベーター工事における予定価格、一者応札等の様々な問題について、現在の調査、検討の進捗状況はどうなっているのか。
- ・平成 24 年度補正予算の公共事業関係費として 1 兆 8 千億円が計上されたが、これに伴い公共工事が集中したことにより、被災地において公共工事の資材不足や職人不足などの悪影響を及ぼしたのではないのか。

三 宅 博君（維新）

- ・北朝鮮による日本人拉致問題に関し、脱北した朝鮮人民軍の元幹部が海上での日本人拉致を認める証言をした旨の報道が 5 月 28 日付でされているが、海上保安庁は海上における拉致事件についてどの程度把握し、どのような認識を持っていたのか。
- ・6 月 1 日付の報道では 1 年前に韓国で元幹部の証言を日本大使館の関係者に伝えていたとされているが、なぜ 1 年間も放置されてきたのか。

若 井 康 彦君（民主）

- ・平成 22 年度から進められているダム計画の予断なき再検証について、事実関係としてどのような状況になっているのか伺いたい。
- ・水循環に関する総合的な取組について、諸外国においてどのような調査研究がなされ、その成果がどのようにに活用されているのか。また、我が国に参考となるような法制度が諸外国で定められているか伺いたい。

白須賀 貴 樹君（自民）

- ・水源地の外国人による取得が話題となるなど、水に関するリスクについて関係省庁がより連携して取り組むことが必要であるが、水に関する省庁の横断的な取組について伺いたい。
- ・100 万人以上が生活用水として利用する印旛沼の水質改善策については国と地方が一体となって取り組むことが重要であるが、その見解を伺いたい。

2 水循環基本法案起草の件

- ・金子委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
(賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、共産)

3 雨水の利用の推進に関する法律案起草の件

- ・金子委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
(賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、共産)

4 雨水の利用の推進に関する件

- ・望月義夫君外5名(自民、民主、維新、公明、みんな、共産)から提出された雨水の利用の推進に関する件の決議案について、提出者井上英孝君(維新)から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。
(賛成一自民、民主、維新、公明、みんな、共産)
- ・鶴保国土交通副大臣から発言がありました。